The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	もう間違わないil estとc'est
Author(s)	井元, 秀剛
Citation	フランス語学研究. 2008, 42, p. 83-85
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/57755
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

Japanese Society of French Linguistics

フランス語学研究，第 42 号，2008 年，pp.83 − 88

フランス語質問箱

もう間違わない il est と c'est

井　元　秀　剛

Q：友達と太郎さんのことを話題にしていたら，隣で聞いていた Marc が C'est qui, Taro？（太郎さんって誰？）と聞くものだから，「大阪大学の学生さんです」というつもりで，Il est un étudiant de l'Université d'Osaka. と言ったら，C'est un étudiant de l'Université d'Osaka. と il ではなく，ce を使いなさいと直されました．どうして il は使えないのですか．

A：これは面白い問題ですね．その質問に答える前に，１つ思い出してもらいたいのですが，初級の教科書で習った Qu'est-ce que c'est？という質問の答えは何でしたか．

Q：C'est un livre. です．

A：そう，これを *Il est un livre. と言うと少しヘンですよね．どうしてですか．

Q：だって，相手が Qu'est-ce que c'est？と c'est を使って聞いているのだから，答えも c'est で答えないとおかしいと思います．それに，今はたまたま un livre（本）が答えですから il est... でよいわけですが，une revue（雑誌）だったりすると elle est... としなくてはならないわけですよね．これだとちょっと複雑です．

A：そう，il や elle を使うということは，それが指しているものが男性名詞であるか女性名詞であるか，すでにわかっているということを前提にしていますよね．聞き手は目の前にあるものが何かと相手に尋ねているわけですから，その名前も知らず，ましてや男性名詞か女性名詞かなどはわかりません．ここは男性名詞か女性名詞かもわからない目の前のものを受けるのだから c'est でなくてはいけないのです．指しているものが名前も含めてはっきりとわかっている時には il で，そうでないときには ce で受ける，とまず覚えてください．最初の質問の答えもこれと同じで，太郎さんを全く未知なものとして扱うから c'est を使うのです．実際聞く方も c'est qui？のように c'est を使って聞いていますよね．

NII-Electronic Library Service

Japanese Society of French Linguistics

Q：あっそうでしたね．でも c'est の方が口語的と聞いたことがあるので，単にそのために ce を使っているだけで，il で受けてもよいと思ったのです．男の人のことだ，というのは文脈でわかるわけですから．

A：文脈からわかる，ということと，表現としてそれをどうみなすかということとは別の問題なのです．もし太郎さんのことを既に知っているけれど，何をしている人か知らない，という場合は Taro que fait-il？と今度は il を使って聞くことになります．答えも il を使うのですが，どう答えますか．

Q：今度は先ほどの Il est un étudiant de l'Université d'Osaka. が使えるのではないでしょうか．

A：残念ながら今度は Il est étudiant à l'Université d'Osaka. と冠詞を入れず de も à に変えなくてはなりません．

Q：どうしてですか．英語だと He is a student. なのに．

A：そうですね．これは属詞（補語）におかれる名詞の性質の違いです．il を使った文では，étudiant のように身分を表す名詞は，既に誰のことかわかっている対象 (il) に対して，その性質を示すのに使われているので，半分形容詞のようなものなのです．だから冠詞はつきません．これに対し，C'est un étudiant. は，A＝Bという純粋に等価の関係を表しています．Aの ce が人や物など名詞相当のものなら，Bも名詞でなくてはならないと考えてください．de と à については，このようなものだと覚えてもらわなくてはいけないのですが，de は名詞を限定する力が強く un étudiant de l'Université d'Osaka の全体が1つのものとして主語の ce と等価な位置におかれています．これに対し il を使った文の方は Il est étudiant までが，本当に言いたいことの中心で，à 以下は場所を表す副詞句で，その意味を補足しているだけなのです．前置して A l'Université d'Osaka, il est étudiant. とすることもできますが，de の場合は前置できません．

Q：何だか難しそうですが，感じとしてはなんとなくわかります．しかし，il と ce を使った表現では他にも紛らわしいものがありますね．例えば「春が来た」というのは C'est le printemps. で *Il est le printemps. とは言いませんし，「今3時です」だと Il est trois heures. で，*C'est trois heures. とは言いません．これはなぜですか．

A：このような表現は理屈抜きでそのようなものとして覚えることも大切ですが，どうしてそうなるのか説明ができないわけでもありません．まず先ほどでてきた Il est étudiant. の il と Il est trois heures. の il は別のものだということを確認しましょう．

Q：え，そうなのですか．どちらも Il est の後に名詞が来ているということでは変わらないのですが．

NII-Electronic Library Service

Japanese Society of French Linguistics

A：しかし trois heures は s がついているから複数ですよね．どうして *Ils sont trois heures ではないのですか．

Q：あ，そうか，それでわかりました．Il est étudiant. の il は特定の人物を指して，それが男性名詞単数だから il が選ばれているのに対し，Il est trois heures. の il は非人称で，指しているものが何もないのですね．elle や ils などというバリエーションもないし．

A：その通りです．Il fait beau. や Il pleut. などの il と一緒で，フランス語の文は通常主語が必要だから，実態のない形の上での主語をおいていると考えられます．

Q：わかりました．でもそれなら C'est le printemps. も同じではありませんか．この ce は何も指してはいません．

A：でも，ce は Ce sont des livres. という形もあるように，やはり何かを指しているという感じは残るのです．C'est le printemps. の場合も，春を感じさせる漠然としたあたりの様子などを受けているのではないでしょうか．

Q：そうですね．指すものがあるかないか，の判断は難しそうですが，そのようなものと理解して，表現を覚えていくことにします．ありがとうございました．

（大阪大学）

ひとの思いと自分の思い

曽　我　祐　典

Q：「彼は目をこらしたがなんら異常は見られなかった」を，s'apercevoir を使って Il a bien regardé mais il ne *s'est* pas *aperçu* d'anomalie. と書いたら，il n'*a* pas *remarqué* d'anomalie に直されました．どうしてですか．「X に気づく」は remarquer X でも s'apercevoir de X でも表せるはずですよね．

A：s'apercevoir の場合，X は「話者が事実と見ていること」にかぎるのです．だから，話者が pas d'anomalie「異常なし」と見ている場面では使えません．「その異常に彼は気づかなかった」なら，「その異常」がたしかに存在すると見ているので，Il ne *s'est* pas *aperçu* de cette anomalie. と書けます．s'apercevoir que X の X も同じで，たとえば「状況が変化していた」という事実があるのに「彼は気づかなかった」ということなら，Il ne *s'est* pas *aperçu* que la situation avait changé. のように言えます．

Q：ポイントは話者の捉えかたなのですね．

NII-Electronic Library Service